

1. 事業の概要

保健事業名	母子保健事業							
根拠法令・要綱等	母子保健法							
健康増進計画に基づく位置づけ	栄 養	運 動	たばこ	アルコール	生活習慣病	介護予防	こころ	歯
事業の目的	住民が安心して出産、育児が出来るようまた健全な生活習慣を獲得できるように健診・各種相談事業を実施する。							
事業の計画	内科・歯科健診(4ヶ月・10ヶ月・1歳半・2歳・3歳)、妊婦・乳児一般健診補助 育児相談(月曜相談・あかちゃんマッサージ・5歳児) 健康教育(歯科指導・マタニティ) 訪問事業 発達支援事業 離乳食教室							

2. 成果の検証

実施実績	健診受診率 4ヶ月 98.6%・10ヶ月 87.2%・1歳半 89.2%・2歳 77.0%・3歳 90.5%、 妊婦一般健康診査 89名、乳児一般健康診査 72名 育児相談 月曜相談 323名・赤ちゃんマッサージ 172名・5歳児 12名 健康教育 歯科指導各園 1回・マタニティ教室 6回 訪問事業 新生児 63名・要支援 17名・園巡回 19名 発達支援 30回 延べ 118名 離乳食教室参加率 46.8%						
達成状況・成果	2歳児以外の健診受診率が9割を維持した為、健診の際に親の不安軽減や生活習慣づくりの重要性(就寝・食事・歯科)を伝えることができた。但し、身体発育及び精神発達の遅れが顕著に現れる2歳前後の健診受診率が8割に留まっている。 育児相談参加数が増加傾向にあり、育児の相談を聴く機会が増えている。 マタニティ教室の参加者が少なく、妊婦に飲酒・栄養等についての話をする機会が母子健康手帳発行時のみとなる傾向にあった。 新生児訪問率が8割であった。 発達支援事業において親の育児軽減機会が増えた。 離乳食教室の参加率が低い。						
健康増進計画 評価指標 または参考指標	指 標 項 目	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	朝食を欠食する人の割合	児童・生徒 3.7%					
	肥満等の割合	児童・生徒 8.5%					
	ほぼ毎日親や友達との野外あそびをする割合	乳児 74.5%					
		小学5年 77.1%					
	運動習慣の割合	中学2年 69.7%					
	未成年者の喫煙率	中学生 0%					
未成年者の飲酒経験率	中学生 28.6%						

	妊婦の飲酒率	10.7%						
	21時までに就寝する	乳児	88.5%					
		幼児	55.3%					
	母乳育児の割合	86.5%						
	相談相手がいる母親割合	88.8%						
	虐待しているかもしれないと 思ったことのある親の割合	乳児	7.7%					
		幼児	19.1%					
		小学5年	15.7%					
		中学2年	3.0%					
	う歯のない児の割合	3歳	77.9%					
		小学生	39.7%					
		中学生	53.0%					

### 3. 評価

A - ある B - それほどない C - ない

評価項目	評価	備考
村民が要望しているか【受容性】	A	
村民にとって必要なことか【必要性】	A	
村が行うべきことか【妥当性】	A	
期待される効果はあがっているか【有効性】	A	
緊急性・優先性はあるか【優先性】	A	
総合 母子保健法に基づいて施行。		

### 4. 今後の方向性

継続

新生児訪問の全数訪問を行い、親の育児不安を緩和する

健診や育児相談を充実させ、生活習慣の土台形成に努め、安心安全の育児サポートを整える

## 白馬村保健事業評価表

### 1. 事業の概要

保健事業名	健康教育事業							
根拠法令・要綱等	健康増進法第 17 条第 1 項							
健康増進計画に基づく位置づけ	栄 養	運 動	たばこ	アルコール	生活習慣病	介護予防	こころ	歯
	○	○	○	○	○	○	○	○
事業の目的	生活習慣病の予防、その他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、健康の保持増進に資する。							
事業の計画	地域巡回型学習会 健康リーダー向け学習会 冬期健康教室の開催 広報活動							

### 2. 成果の検証

実施実績	健康学習会(いどばた健康教室 38 名・地区健康教育 2 地区 26 名・保健補導会学習会 3 回 83 名・食改学習会 4 回 128 名)、 栄養講座 3 回 延べ 26 名、冬の運動不足解消講座 22 回 延べ 154 名、 広報活動[広報はくば掲載(メタボリックシンドローム・食の小部屋・歯の健康)、 文化祭展示(健診結果・高血糖)]							
達成状況・成果	平成 20 年度は、生活習慣病の予防及び健康課題の一つである冬の運動不足改善に向けての取り組みを重点的に実施。メタボリックシンドローム等の普及により、住民の健康意識も高まってきている。							
健康増進計画 評価指標 または参考指標	指 標 項 目	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	
	朝食を欠食する人の割合	9.5%						
	間食を控えるよう意識している人の割合	20.7%						
	運動習慣者の割合	男性	37.2%					
		女性	34.8%					
	日常生活の中でよく動く人の割合	男性	37.6%					
		女性	27.3%					
	適度な運動を心がけている人の割合	42.8%						
	喫煙率	男性	26.0%					
		女性	7.6%					
血圧自己測定実施率	47.3%							
1 日 3 回の歯磨き習慣がある人の割合	23.1%							

### 3. 評価

A - ある B - それほどない C - ない

評価項目	評価	備考
村民が要望しているか【受容性】	A	
村民にとって必要なことか【必要性】	A	
村が行うべきことか【妥当性】	A	
期待される効果はあがっているか【有効性】	A	
緊急性・優先性はあるか【優先性】	A	
<b>総合評価</b> 生活習慣病は予防が可能であり、早期からの取り組みが重要である。大きな法律改正に基づき国や県でも重点施策となっている。		

### 4. 今後の方向性

<b>継続</b> 生活習慣病対策を進める上でも、一次予防(健康増進)に取り組む全村的な体制・雰囲気作り(ポピュレーションアプローチ)が重要である
--

## 白馬村保健事業評価表

### 1. 事業の概要

保健事業名	健康相談事業							
根拠法令・要綱等	健康増進法第 17 条第 1 項							
健康増進計画に基づく位置づけ	栄 養	運 動	たばこ	アルコール	生活習慣病	介護予防	こころ	歯
	○	○	○	○	○	○	○	○
事業の目的	心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に資する。							
事業の計画	随時健康相談 健診時相談 結果相談会 訪問							

### 2. 成果の検証

実施実績	随時健康相談(いどばた健康教室時 38 名・地区健康相談 4 地区 延べ 116 名・個別相談 85 名・栄養相談 34 名) 健診時相談(肥満者 166 名・血圧 38 名・その他 210 名) 結果相談会 88 名、運動相談 10 名、栄養相談 30 名						
達成状況・成果	特定健診受診者を中心に健診データをもとにした相談会を実施。生活習慣の行動変容の改善に効果がみられた。また、平成 20 年度は管理栄養士・運動療法士などの専門職による相談を実施した。						
健康増進計画 評価指標 または参考指標	指 標 項 目	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
	禁煙したいと思う人の割合	20.0%					
	多量に飲酒する人の割合	男性	7.1%				
女性		0%					

### 3. 評 価

A - ある B - それほどない C - ない

評 価 項 目	評 価	備 考
村民が要望しているか【受容性】	A	
村民にとって必要なことか【必要性】	A	
村が行うべきことか【妥当性】	A	
期待される効果はあがっているか【有効性】	A	
緊急性・優先性はあるか【優先性】	A	
総 合 評 価		健康診断後の指導やフォローなど、個々の生活習慣に基づいた個別の対応が重要である。

### 4. 今後の方向性

継続 地域住民が相談しやすい体制をつくる 多様な相談に対応できる専門スタッフの質の向上を図る
--

## 白馬村保健事業評価表

### 1. 事業の概要

保健事業名	各種検診及び健康診査等事業							
根拠法令・要綱等	健康増進法第9条第1項							
健康増進計画に基づく位置づけ	栄 養	運 動	たばこ	アルコール	生活習慣病	介護予防	こころ	歯
事業の目的	がん予防・早期発見の推進を図り、がん死亡者を減少させる。							
事業の計画	特定健診との同時実施(6月～7月)							

### 2. 成果の検証

実施実績	事業名	受診者数(名)	要精検者数(名)	精検受診者数(名)	がん発見数			
	胃がん検診	649	49	43	0			
	大腸がん検診	970	49	42	2			
	肺がん検診	1229	22	16	2			
	子宮がん検診	298	2	2	0			
	乳房検診	294	27	24	0			
	前立腺がん検診	159	16	11	0			
	肝炎ウイルス検診	8	0	0	0			
	後期高齢者健診	112						
達成状況・成果	<p>受診者数は増加傾向にあるが、いずれも最終目標50%の半数に満たない状況である 住民の利便性を考え、国保特定健診との同日実施をした 肺がん検診で65歳・74歳の女性2名、大腸がん検診で66歳女性・60歳男性の 2名にがんが発見された</p>							
健康増進計画 評価指標 または参考指標	指標項目	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
	がん 検診 受診 率	胃がん検診	10.8%					
		大腸がん検診	16.1%					
		肺がん検診	23.3%					
		子宮がん検診	14.9%					
		乳房検診	22.1%					
	がん 検診 精 検 率	胃がん検診	87.7%					
		大腸がん検診	85.7%					
		肺がん検診	72.2%					
		子宮がん検診	100%					
乳房検診		88.9%						

## 3. 評価

A - ある B - それほどない C - ない

評価項目	評価	備考
村民が要望しているか【受容性】	A	
村民にとって必要なことか【必要性】	A	
村が行うべきことか【妥当性】	A	
期待される効果はあがっているか【有効性】	A	がん発見者4名
緊急性・優先性はあるか【優先性】	A	
総合評価 がんは死因の第1位を占めており、早期発見において検診は重要な役割をもつ。		

## 4. 今後の方向性

<p>継続 検診を受けやすい体制の工夫を行う 受診率の向上を図る</p>
--

## 白馬村保健事業評価表

### 1. 事業の概要

保健事業名	精神保健福祉事業							
根拠法令・要綱等	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律							
健康増進計画に基づく位置づけ	栄 養	運 動	たばこ	アルコール	生活習慣病	介護予防	こころ	歯
事業の目的	精神疾患の発生の予防その他、住民の精神的健康の保持及び増進に努めることによって、精神障害者の福祉の増進及び精神保健の向上を図る。							
事業の計画	精神保健普及啓発(広報・ホームページ等) 相談指導(個別相談・訪問)							

### 2. 成果の検証

実施実績	精神保健普及啓発事業 [広報はくば掲載・心の健康を考える集い(9月12日 大町保健所主催)] 相談指導事業(来所 50件・電話 92件・訪問 128件・会議 9回)							
達成状況・成果	平成20年度は心の健康を考える集いを白馬村で開催し、当事者・村民の方にもボランティア協力や講演会参加という形で参加いただくことができた。 うつ病などの気分障害の方の相談が増加している。							
健康増進計画 評価指標 または参考指標	指 標 項 目	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
	疲労回復できていない人の割合	22.9%						
	睡眠確保のために睡眠補助剤やアルコールを使う人の割合	18.0%						
	悩みやストレスを解消できていない人の割合	20.3%						

### 3. 評 価

A - ある B - それほどない C - ない

評 価 項 目	評 価	備 考
村民が要望しているか【受容性】	A	
村民にとって必要なことか【必要性】	A	
村が行うべきことか【妥当性】	A	
期待される効果はあがっているか【有効性】	B	全村的な啓発が必要
緊急性・優先性はあるか【優先性】	A	
総 合 評 価	全国的に自殺者も増加しており、自殺対策が急務とされている。	

### 4. 今後の方向性

継続 心の健康・自殺対策も含めた取り組みを行う
----------------------------

## 白馬村保健事業評価表

### 1. 事業の概要

保健事業名	感染症予防事業							
根拠法令・要綱等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律							
健康増進計画に基づく位置づけ	栄 養	運 動	たばこ	アルコール	生活習慣病	介護予防	こころ	歯
事業の目的	感染症の発生、及びその蔓延を防ぐ。							
事業の計画	感染症予防の普及啓発(重点：新型インフルエンザ) 結核定期検診(65歳以上年1回)							

### 2. 成果の検証

実施実績	感染症予防啓発事業 (広報はくば掲載・広報無線・文化祭展示・新型インフルエンザ講演会参加者 81名) 胸部レントゲン(結核)検診 受診者 614・結核発見者なし							
達成状況・成果	新型インフルエンザの大流行を見据えた体制整備、住民の生活の混乱を防ぐため、新型インフルエンザの関する普及活動、関係者への研修を重点的に実施した。							
健康増進計画 評価指標 または参考指標	指 標 項 目	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	

### 3. 評 価

A - ある B - それほどない C - ない

評 価 項 目	評 価	備 考
村民が要望しているか【受容性】	A	
村民にとって必要なことか【必要性】	A	
村が行うべきことか【妥当性】	A	
期待される効果はあがっているか【有効性】	B	全村的な啓発が必要
緊急性・優先性はあるか【優先性】	A	
総 合 評 価		平成 21 年度は実際に新型インフルエンザが大流行し、対応は急務である。

### 4. 今後の方向性

<p>継続</p> <p>当初予測されたものより毒性は強くなかったものの、当村でも観光客を含め多数の感染者が発生。国や県の方針も随時修正されていくので、正しい情報の提供及び感染予防のための普及啓発が重要</p>
---

## 白馬村保健事業評価表

### 1. 事業の概要

保健事業名	定期予防接種事業							
根拠法令・要綱等	予防接種法・感染症法							
健康増進計画に基づく位置づけ	栄 養	運 動	たばこ	アルコール	生活習慣病	介護予防	こころ	歯
事業の目的	感染の恐れのある疾病の発生、及び蔓延を防ぐ。							
事業の計画	集団接種[ B C G ・ 3 種混合( D P T ) ・ 2 種混合( D T ) ・ M R ・ ポリオ] 個別接種(高校生M R) 相互乗り入れ(アレルギー等で主治医の下で実施した方が良いと医師に判断された者) 定期外接種( B C G ・ 3 種混合においては、定期が過ぎても医師が認めた者は法令に従って任意接種として実施する)							

### 2. 成果の検証

実施実績	接種率 B C G 93.9% ・ 3 種混合 88.5% ・ 2 種混合 97.8% ・ M R 98.8% ・ ポリオ 80.8%						
達成状況・成果	概ね 9 割の接種率となっているが、ポリオが 8 割に留まっている。						
健康増進計画 評価指標 または参考指標	指 標 項 目	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度

### 3. 評 価

A - ある    B - それほどない    C - ない

評 価 項 目	評 価	備 考
村民が要望しているか【受容性】	A	
村民にとって必要なことか【必要性】	A	
村が行うべきことか【妥当性】	A	
期待される効果はあがっているか【有効性】	A	
緊急性・優先性はあるか【優先性】	A	
総 合		予防接種法に基づいて施行。

### 4. 今後の方向性

継続 受診率の向上を図る
-----------------

## 白馬村保健事業評価表

### 1. 事業の概要

保健事業名	介護予防事業							
根拠法令・要綱等	介護保険法第4条第1項							
健康増進計画に基づく位置づけ	栄 養	運 動	たばこ	アルコール	生活習慣病	介護予防	こころ	歯
事業の目的	高齢者が要介護状態になることをできる限り防ぐ。							
事業の計画	<p>一般高齢者施策</p> <p>いどばた健康教室</p> <p>よりえプラザ</p> <p>冬の運動不足解消講座</p> <p>地域介護予防活動支援事業</p> <p>特定高齢者施策</p> <p>特定高齢者把握</p> <p>まめった講座</p> <p>訪問型介護予防</p> <p>口腔機能予防教室</p>							

### 2. 成果の検証

実施実績	<p>一般高齢者施策</p> <p>いどばた健康教室(栄養に関する指導) 村内 26 か所 延べ 240 名、 よりえプラザ 89 回 登録者 22 名 延べ 948 名 冬の運動不足解消講座 7 講座 22 回 延べ 56 名 地域介護予防活動支援事業 健茶会(自主グループ)18 地区 食生活改善推進員・保健補導員による介護予防事業への協力 ボランティア団体との連携(よりえプラザ・まめった講座への協力)</p> <p>特定高齢者施策</p> <p>特定高齢者把握 基本チェックリスト実施者 379 名 決定者 99 名 (介護予防事業参加者 13 名・介護保険申請者 4 名) まめった講座 マシーン運動等 45 名・新規参加者 21 名 延べ参加者 165 名(うち、特定高齢者 11 名) 卒業生参加者 119 名 訪問型介護予防事業 1 名 月 1 回程度訪問 口腔機能予防教室 口腔機能低下の疑われる特定高齢者候補者 9 名</p>							
達成状況・成果	<p>介護予防事業参加者は、外出・交流の機会が増え、生活意欲向上につながり、 介護予防効果が得られている。</p> <p>よりえプラザ・まめった講座においては、地域のボランティアが支援してくれる体制が整ってきている。</p> <p>体操を中心とした介護予防の自主グループが地域で活動している。</p>							
健康増進計画 評価指標 または参考指標	指 標 項 目	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	
	要介護認定率	15.9%						
	積極的に外出する高齢者の割合	76.4%						

	運動をしている高齢者の割合	46.9%					
	健康、まあまあ健康と感じている高齢者の割合	83.7%					
	60歳で24歯以上自分の歯を有する人の割合	55~75歳 46.3%					

### 3. 評価

A - ある B - それほどない C - ない

評価項目	評価	備考
村民が要望しているか【受容性】	A	
村民にとって必要なことか【必要性】	A	
村が行うべきことか【妥当性】	A	
期待される効果はあがっているか【有効性】	A	
緊急性・優先性はあるか【優先性】	A	
総合評価 住み慣れた地域で生活を継続するために、介護予防の取り組みが重要である。		

### 4. 今後の方向性

継続

保健予防分野と連携し、脳血管疾患予防、再発、重症化予防を行う  
インフォーマルな介護予防につながる地域資源を発掘、活用していく  
地域活動により特定高齢者等の把握を行い、必要な支援につなげていく

## 馬村保健事業評価表

### 1. 事業の概要

保健事業名	保健補導員会事業							
根拠法令・要綱等	国民健康保険法第 82 条							
健康増進計画に基づく位置づけ	栄 養	運 動	たばこ	アルコール	生活習慣病	介護予防	こころ	歯
	○						○	
事業の目的	地域住民の健康増進を図るため、実践活動に必要な知識と技術の習得に努めるとともに、会員相互の親睦を図る。							
事業の計画	会議 3 回 学習会 3 回 県・大北研修会各 1 回 いどばた健康教室への協力 地区自主活動							

### 2. 成果の検証

実施実績	会員数 53 名 研修会等 5 回 延べ 104 名参加(特定健診・体を動かす・食事等) いどばた健康教室への協力 全地区 地区活動 6 地区 19 回 延べ 237 名						
達成状況・成果	今年度大きな法律改正があった特定健診や生活習慣病の予防を中心に、学習会を実施。まず自らが学習し、家族や地域に広めていくための活動を目指している。徐々に自主的な地区活動を実践する地区が増えている。						
健康増進計画 評価指標 または参考指標	指 標 項 目	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度

### 3. 評 価

A - ある B - それほどない C - ない

評 価 項 目	評 価	備 考
村民が要望しているか【受容性】	A	
村民にとって必要なことか【必要性】	A	
村が行うべきことか【妥当性】	A	
期待される効果はあがっているか【有効性】	B	地区自主活動の拡がりが見られる
緊急性・優先性はあるか【優先性】	A	
総 合 評 価	地域の健康課題に取り組む住民組織としての役割は重要である。	

### 4. 今後の方向性

継続 会員が習得した知識を地域に普及していく 地区の特性にあった自主活動の取り組みを支援する
--

## 白馬村保健事業評価表

### 1. 事業の概要

保健事業名	食生活改善推進協議会活動								
根拠法令・要綱等									
健康増進計画に基づく位置づけ	栄 養	運 動	たばこ	アルコール	生活習慣病	介護予防	こころ	歯	
事業の目的	食をはじめとした健康的な生活習慣を努めるとともに、会員から家庭、地域全体における健康づくりの普及を図る。								
事業の計画	委託事業(社協ふれあい弁当・公民館料理教室) 料理伝達講習会 支援ルーム食育活動(郷土食紹介等) 文化祭展示(食に関する情報提供、料理紹介) 地区自主活動 役員会、総会、食や健康に関する会議への出席								

### 2. 成果の検証

実施実績	ふれあい弁当 年 6 回提供・公民館料理教室 計 6 回 参加者 16 名 料理伝達講習会 年 3 回 支援ルーム食育活動 年 3 回 地区活動 3 地区							
達成状況・成果	年間計画に基づき、精力的に各事業を実施。文化祭における展示では、菓子・嗜好品等がご飯何杯分に相当するか、写真つきでわかりやすく示し、会員だけでなく住民における糖分摂取過多の現状を発表した。							
健康増進計画 評価指標 または参考指標	指 標 項 目	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	

### 3. 評 価

A - ある B - それほどない C - ない

評 価 項 目	評 価	備 考
村民が要望しているか【受容性】	A	
村民にとって必要なことか【必要性】	A	
村が行うべきことか【妥当性】	A	
期待される効果はあがっているか【有効性】	B	会員における一層の食意識改善
緊急性・優先性はあるか【優先性】	A	
総 合 評 価		

### 4. 今後の方向性

継続 減少傾向にある会員数を確保し、マンパワー不足・活動縮小を防ぐ 会員における食意識の改善を図る 子育て世代への郷土食の伝承等、食育活動を充実させる
--

## 白馬村保健事業評価表

### 1. 事業の概要

保健事業名	特定健診事業							
根拠法令・要綱等	高齢者の医療の確保に関する法律及び同法に基づき特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準(平成19年12月28日厚生労働省令第157号)							
健康増進計画に基づく位置づけ	栄 養	運 動	たばこ	アルコール	生活習慣病	介護予防	こころ	歯
事業の目的	生活習慣病の早期発見と重症化を予防するとともに、住民のQOL低下の予防、国保・介護財政の維持健全化を図る。							
事業の計画	40～74歳の国保加入者に対し、集団特定健診							

### 2. 成果の検証

実施実績	集団健診実施日数 16日間(肺・胃・大腸・前立腺がん検診同日実施) 特定健診受診者 1204名 うち、総合判定結果 異常なし 38名(2.9%)、要経過観察 272名(29.3%)、 要医療 532名(40.4%)、治療継続 362名(27.5%)							
達成状況・成果	受診率 52.1%(H21.3.31現在、H21.9.25国最終報告)							
健康増進計画 評価指標 または参考指標	指 標 項 目		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
	特定健診受診率		52.1%					65%
	糖尿病有病率	男性	33.3%					25%
		女性	31.4%					
	平均最大血圧		125mmHg					121mmHg
	脂質代謝 有所見者 の割合	LDLコレステロール	58.1%					30.0%
		血清コレステロール	男性	9.6%				7.7%
			女性	13.5%				10.8%
メタボリックシンドローム 該当者・予備群の減少率	男性	25.4%					22.9%	
	女性	8.5%					7.7%	

### 3. 評価

A - ある    B - それほどない    C - ない

評価項目	評価	備考
村民が要望しているか【受容性】	A	
村民にとって必要なことか【必要性】	A	
村が行うべきことか【妥当性】	A	20年度より医療保険者による実施の義務化
期待される効果はあがっているか【有効性】	A	
緊急性・優先性はあるか【優先性】	A	
<b>総合評価</b> 法律に基づき20年度より医療保険者による実施の義務化がなされ、村民の要望もあることから、継続が必要である。		

### 4. 今後の方向性

住民から要望の高いがん検診とのセット健診継続や、休日健診の実施、待ち時間短縮のための時間指定健診の導入等、対象者が受診しやすい環境を整備する 2年以上の未受診者及び前年度保健指導対象者等に対し、個別に健診受診勧奨を行い、受診率の向上を図る 他団体・地区と連携し、未受診者対策を実施し受診率の向上を図る 社保加入者にも健診の機会を提供するため健診業者と検討する 若年者への健診の必要性を検討する
--

## 白馬村保健事業評価表

### 1. 事業の概要

保健事業名	特定保健指導事業								
根拠法令・要綱等	高齢者の医療の確保に関する法律及び同法に基づき特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準(平成 19 年 12 月 28 日厚生労働省令第 157 号)								
健康増進計画に基づく位置づけ	栄 養	運 動	たばこ	アルコール	生活習慣病	介護予防	こころ	歯	
事業の目的	生活習慣病の早期発見と重症化を予防するとともに、住民のQOL低下の予防、国保・介護財政の維持健全化を図る。								
事業の計画	特定健診受診者に対する階層化により、ハイリスク受診者への受診勧奨・保健指導該当者への保健指導 国庫事業であるテーラーメイド事業(平成 20 年 10 月内示)を活用した、保健指導該当者に対するインターバル速歩プログラムによる保健指導								

### 2. 成果の検証

実施実績	健診当日面接実施者 405 名、初回面接実施者 163 名 情報提供支援者含む 保健指導該当者 151 名(積極的支援者 50 名、動機付け支援者 101 名) プログラム参加者 20 名(積極的支援者 6 名、動機付け支援者 14 名)						
達成状況・成果	保健指導該当者 初回面接実施者 94 名(62.3%)、指導完了者 40 名(26.4%) うち、積極的支援者 初回面接実施者 34 名(68.0%)、指導完了者 13 名(26.0%) 動機付け支援者 初回面接実施者 60 名(59.4%)、指導完了者 27 名(26.7%) 平成 21 年度健診結果より、 積極的・動機付け支援対象者における、当日・初回保健指導前後での行動変容レベルの変化において、t 検定により指導の効果が実証された 積極的支援初回面接者 1kg 以上の体重減少者 60%、1kg 以上の体重増加者 0% 動機付け支援初回面接者 1kg 以上の体重減少者 43%、1kg 以上の体重増加者 14% プログラム参加者 1kg 以上の体重減少者 57%、1kg 以上の体重増加者 7%						
健康増進計画 評価指標 または参考指標	指 標 項 目	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
	特定保健指導率 (白馬村特定健診実施計画・国の目標)	26.4%					45%

### 3. 評 価

A - ある B - それほどない C - ない

評 価 項 目	評 価	備 考
村民が要望しているか【受容性】	A	
村民にとって必要なことか【必要性】	A	
村が行うべきことか【妥当性】	A	20 年度より医療保険者による実施の義務化
期待される効果はあがっているか【有効性】	A	
緊急性・優先性はあるか【優先性】	A	
総合評価	法律に基づき 20 年度より医療保険者による実施の義務化がなされ、村民の要望もあることから、継続が必要である。	

### 4. 今後の方向性

健診結果を郵送せず全員に対して集団説明会を行い、運動・栄養教室や再検査を活用する事で今後の生活習慣病予備群の減少・保健指導率の向上を図る 健診結果・レセプト分析を続け、スタッフ間のカンファレンスを行う事で効果的な保健指導に繋げる 村全体に対しても歩くことや適度な運動を勧める啓蒙活動・働きかけを行い、村内で運動しやすい環境づくりを図る
---